

JFA 第 49 回全日本 U-12 サッカー選手権大会 審判指導者参加 報告

報告者 山口県 石原薰



日程:

【事前オンライン研修】

1回目 2025 年 11 月 12 日(水) 2 回目 2025 年 12 月 10 日(水) 計 2 回

【大会】2025 年 12 月 25 日(木)～28 日(日)

参加者: 地域推薦 32 名 U-18 審判員

【内田恭平(鳥取) / 鎌田純輝(岡山) / 西村脩吾(山口)】

審判指導者: 地域審判指導者 16 名 【中国 山口県 石原薰】

JFA1 級審判 INS 4 名

【古曾部 統太郎 / 佐藤 ゆみ / 西野 照美 / 和角 敏之】

JFA 審判マネージャー 2 名

【高橋 武良 / 名木 利幸】

JFA 審判委員会 扇谷委員長 宮島副委員長

JFA 審判部 村山一平

場所: 鹿児島県

県営サッカーラクビー場 / ふれあいスポーツランド

ホテルタイセイアネックス

【活動內容】

・事前オンライン研修

先ず、この大会での審判 TEAM の役割について

大会は、選手が日ごろの練習の成果を発揮して、競い合うために開催されます。

審判員 TEAM として行うことは、選手が全力でプレーできるよう試合を進めることです。

◆大会は、審判員や審判指導者が学ぶ場ではない。

(審判員の評価や優劣をつける場でもない)

◆審判員と審判指導者が協力して、選手たちが競技規則に

したがってプレーをする環境を作ることです。

目標に向け事前準備をするために審判員・指導者へのリクチャーとなった

また、前回大会の映像3試合を事前に観てからユース審判員の特徴を把握することの課題を与えた。

12月25日(木)

・16時00分ホテルタイヤイアネックス審判指導者集合。

・審判指導者打ち合わせ＆研修(17時00分～18時00分)

① 大会概要を再確認。

② 大会スケジュールについての説明

[2025] JFA 第49回 全日本U-12サッカー選手権大会 フェスティバル

2025/12/25 (木)		2025/12/26 (金)	2025/12/27 (土)	2025/12/28 (日)		2025/12/29 (月)
審判員	審利指導者	審判員/審利指導者	審判員/審利指導者	審判員/JFA	審判員/JFA	
6:00						6:00
7:00		朝食 @タイセイアネックス	朝食 @タイセイアネックス	朝食 @タイセイアネックス	朝食 @タイセイアネックス	朝食 @タイセイアネックス
8:00		8:00移動 → フレスボ 輸送バス 2台 (全員乗車) 審判員32名+指導者26名	8:00移動 → フレスボ 輸送バス 2台 (全員乗車) 審判員32名+指導者26名	8:00移動 1号車 → フレスボ (ランドリーマッチ) 8:00移動 2号車 → 駅道 (来客決勝)	8:00移動 2台 (全員乗車) 審判員32名+指導者26名 8:00移動 1号車 → フレスボ (ランドリーマッチ) 8:00移動 2号車 → 駅道 (来客決勝)	8:00移動 2台 (全員乗車) 審判員32名+指導者26名 8:00移動 1号車 → フレスボ (ランドリーマッチ) 8:00移動 2号車 → 駅道 (来客決勝)
9:00		AM 1次ラウンド第1戦 9:30kickoff 10:30kickoff 11:30kickoff ピッチ8面×3試合	AM 1次ラウンド第3戦 9:30kickoff 10:30kickoff 11:30kickoff ピッチ8面×3試合	ラウンド8 フレンドリーマッチ ピッチ8面×5~6試合 @フレスボ	ラウンド8 9:30kickoff 10:45kickoff ピッチ2面×2試合 @駅道補助	決勝 主 席 ●● 審利指導者 ●● 9:30Kickoff @白波スタ
10:00						10:00
11:00		昼食 (弁当) @ふれあい<ル内運動場>	昼食 (弁当) @ふれあい<ル内運動場>			11:00
12:00						12:00
13:00		PM 1次ラウンド第2戦 13:15kickoff 14:15kickoff 15:15kickoff ピッチ8面×3試合	PM フレンドリーマッチ 13:15kickoff 14:15kickoff ラウンジ16 ピッチ8面×3試合	各会場で終了後解散 (13時発完走) 人数: 2台で50名以上 1号車→フレスボ-鹿児島中央駅-鹿児島空港 2号車→駅道-鹿児島中央駅-鹿児島空港-白波スタ	各会場で終了後解散 (13時発完走) 人数: 2台で50名以上 1号車→フレスボ-鹿児島中央駅-鹿児島空港 2号車→駅道-鹿児島中央駅-鹿児島空港-白波スタ	11:30 白波スタタマで解散 JFALシルバー 解散後 → 鹿児島空港
14:00						13:00
15:00	審利説明会					14:00
16:00	川高ホール移動	INSチェックイン				15:00
17:00	WS打ち合わせ	JFA INS合せ @4階会議室	16:30移動→ホテル	16:30移動→ホテル	16:30移動→ホテル	16:00
18:00	リストペクトWS	INS合せ @ 4階会議室 17:00~18:00				17:00
19:00	18:00移動→ホテル		夕食 @タイセイアネックス	夕食 @タイセイアネックス	夕食 @タイセイアネックス	18:00
20:00		夕食 @タイセイアネックス	審利研修 @ よかこ1会議室 指導者研修 @ よかこ3会議室	審利研修 @ ホテル4階会議室 指導者研修 @ ホテル3会議室	全体会 @ホテル4階会議室	19:00
21:00	技術検査会議室 @ホテル4階会議室 20:00~21:00	INST研修 @ホテル3会議室 20:00~21:00	19:00~20:00 全体会 20:00~20:30	19:00~21:00 全体会 20:00~20:30	19:00~21:00	20:00
	全体会 @ホテル4階会議室 21:00~21:30					21:00

③ 1日目＆2日目の審判員/審判指導者のグループ分け &

審判員・審判指導者の Pitch 割当

A グループ ~ H グループに分かれて

1グループに審判員 4名 審判指導者 2名で行動する。

下図は、午前中／午後のピッチ割当(26日、27日)

	AM	PM	AM	PM
ピッチ1	A	A	H	H
ピッチ2	B	B	G	G
ピッチ3	C	C	F	F
ピッチ4	D	D	E	E
ピッチ5	E	E	D	D
ピッチ6	F	F	C	C
ピッチ7	G	G	B	B
ピッチ8	H	H	A	A



④ 審判指導者が、グループに分かれて、事前課題3試合の映像を観たことで、

・INSとしてこの3試合を担当していたら、審判員と「どんな話をするか」

・3試合の担当審判員だったら、インストラクターからの質問に「どのように答えるのか」

審判員役、審判指導者役、アドバイザー役の3名で振り返りデモを行い研修を実施しました。コーチングだけではなかなか落とし込めないと、時にはティーチングとして関わることも必要だと感じました。終了後、別室のユース審判員と合流。グループ毎に分かれて自己紹介を行い翌日の試合に向けての打ち合わせも含めてコミュニケーションを図りました。



JFA 全日本 U-12 サッカー選手権大会

12月26日（金）27日（土） 公式カウントダウン

	12月26日（金） 12月27日（土）	1次ラウンド 第1戦		1次ラウンド 第2戦		
		1次ラウンド 第3戦	1次ラウンド交流戦	ラウンド16		
	第1試合	第2試合	第3試合	第4試合	第5試合	第6試合
- 60	メンバー表提出／アップ場入場可	08:30	09:30	10:30	12:15	13:15
- 20	アップ場退場	09:10	10:10	11:10	12:55	13:55
- 15	ピッチ入口両チーム集合	09:15	10:15	11:15	13:00	14:00
- 10	ベンチイン	09:20	10:20	11:20	13:05	14:05
- 05	メンバーチェック	09:25	10:25	11:25	13:10	14:10
- 04	用具チェック	09:26	10:26	11:26	13:11	14:11
- 03	先発選手8名入場	09:27	10:27	11:27	13:12	14:12
- 02	セレモニー → コイントス	09:28	10:28	11:28	13:13	14:13
00	前半キックオフ	09:30	10:30	11:30	13:15	14:15
+ 20	ハーフタイム	09:50	10:50	11:50	13:35	14:35
+ 30	後半キックオフ	10:00	11:00	12:00	13:45	14:45
+ 50	試合終了	10:20	11:20	12:20	14:05	15:05
						16:05

▶ 12月26日（金）

・1日目 大会審判/審判指導(8時30分～16時45分)

8ピッチにチーム配置(審判員4名+地域指導者2名) & JFA1級INSサポート

1日目、3名の審判員(主審)をサポートしながらアドバイスを行いました。

審判指導者(石原)として担当した試合

9時30分 ピッチ7 那須野ヶ原FC－沖洲FC

11時30分 ピッチ7 ヴィッセル神戸－オオタFC

14時15分 ピッチ7 カティオーラFC－デサフィオC.F

それぞれ自身の特徴を活かしたレフェリングで試合を運営していました。

4人とも緊張がありながらも堂々とした姿勢で試合をコントロールしていました。

ピッチを走り動き良いポジショニングを取ろうと努力していたのは好印象でした。

PKが与えられる場面、YCが示された場面も出ました。

3試合ともグリーンカードの掲示がやや少なかったのが気になったところでした。



・審判指導者研修 ホテルタイセイアネックス別館(20時00分～21時00分)

「参加ユース審判員にどんなサポートをするか」とのテーマで、翌日に審判指導者としてどういうサポートやアドバイスができるのかをグループに分かれてディスカッションを行いました。

私達のグループも含め、先ずは良いところをしっかり褒める。会場の空いたスペースでスモールプラクティカルを実施して試合に臨ませてあげるなどの意見が多かった。

➤ 12月27日(土)

・2日目 大会審判/審判指導(8時30分～16時45分)

8ピッチにチーム配置(審判員4名+地域指導者2名) & JFA1級INSサポート

2日目、3名の審判員(主審)をサポートしながらアドバイスを行いました。

審判指導者(石原)として担当した試合

10時30分 ピッチ2(一次ラウンド最終)FC.フェルボーラ愛知-FCグロウズ

13時15分 ピッチ2(フレンドリーマッチ)沖洲FC-FC琉球

15時15分 ピッチ2(決勝ラウンド16) FCトリアネーロ町田-太陽SC

翌日に短時間、ピッチの空スペースを活用してスモールプラクティカル(動き&シグナル)のアドバイスを行い、すぐにチャレンジを試み実践につなげていた姿勢は共感が持てました。

試合の流れを止めずアドバンテージを積極的に適用して、得点にまでつながった場面もあり素晴らしいレフェリングでコントロールしていました。



・審判指導者研修 よかセンター（19時30分～21時00分）

「次年度に参加して来るユース審判員に何を教えるか」

難しいお題ではありましたが、グループ毎に分かれてディスカッションを実施。

なかなか纏まらなかったが、自分たちの地域でユース審判員伝えられることは、

実技経験も大事であるが、サッカー競技を理解したレフェリングの意識を持たせる。

とくに「サッカーの4局面」攻守の切替に注目した戦術、8人制サッカー競技規則の理解など。また、体調管理と良い準備をして臨ませるなどが出ました。

➤ 12月28日(日)

・最終日

準々決勝割当の審判チーム以外は、マクドナルドカップフレンドリーマッチの審判対応で、地域審判指導者もそちらに同行予定でしたが、翌日から明け方にかけて体調不良の審判員が数名出た為、JFA 審判部からフレンドリーマッチの審判対応をキャンセルされ朝の時点で全日程終了解散となりました。

朗報としては、中国地域山口県の西村脩吾ユース審判員が準々決勝主審の割当になりました。記憶する中では、中国地域として初めてのことではないかと思います。（間違えていたら申し訳ございません…）

【まとめ】

ご推薦いただきました中国FA審判委員会、山口県FA審判委員会に感謝申し上げます。県FAレフェリアーカデミーの担当をさせていただくことで、ユース審判員にも関わることが増え全国から選出されて来るユース審判員の活動に期待を持ちながら自身の審判指導の向上と良いサポートが出来るよう大会に臨ませていただきました。

全国大会だけにユース審判員の大会にかける思いを感じながら審判指導者として出来ることを最大限発揮したいとの思いで関わりました。私のグループのユース審判員の4名は、とても素直で元気のよいメンバーで、もうひとつの審判指導者（関西）は、審判としても現役進行中で、知識の幅が広く、頼もしいおもろい方でした。皆さんとても良い方々でグループに恵まれたと思っています。全国大会というレベルの高い試合が繰り広げられる中で、初戦は緊張感もありつつもその試合にチャレンジするごとに成長していく姿には、嬉しさと頼もしさを感じました。大会を審判員と成功させる、ただ審判指導者として褒めて、勇気づけて、ちょっとしたアドバイスを伝えて次の試合へと送り出す。心身両面、安心感をもって試合に臨めるよう雰囲気づくりや安心して話しかけられる、相談できる姿勢を持つように私自身も臨みましたが上手く伝えられたかは…

さらに学び成長していきたいと思います！！

大会期間中、中国地域3名の審判員の試合を観ることもなく、コミュニケーションを取れることもなく、関わる時間が持てなかつたのはとても残念でした。

ユース審判員3名には、中国地域そして自県の活動にこの大会で得られたものを11人制サッカーのレフェリングに活かしてほしいと思います。また、私自身もしっかりとサポート、これからの人財育成・発掘に取り組んでいきたいと思います。

この大会に参加したユース審判員が数年後には、日本のトップ審判員、世界で活躍する審判員に成長されることを大いに期待したいと思います。

最後に素晴らしい環境の中での大会でした。鹿児島県FA、鹿児島県FA審判委員会様の運営で大会、研修が滞りなく終われたことに深く感謝申し上げます。

